

教育研究所だより

令和8年度（2026年度）

5月号（通算264号）

輝動

（きどう：子どもが輝き、躍動するまち）

近江八幡市教育研究所

TEL 0748-36-5574

FAX 32-3352

メール

044800@city.omihachiman.lg.jp



本市の子どもたちのために

教育委員会事務局 学校教育課長 善住 晶子

今年度、近江八幡市教育委員会事務局学校教育課長を務めます。どうぞよろしくお願い申し上げます。子どもたちの健やかな成長のため、日々ご尽力いただき、それぞれのお立場で教育に携わっていただいています皆様に心より感謝いたします。

さて、教育現場では多様な今日的課題が混在していますが、本市も同様にさまざまな課題が見受けられます。学力の確かな定着、不登校、教員不足、スマホ・ゲーム依存、地域コミュニティの希薄化等。数年前に比べて、保護者や学校から教育委員会事務局への相談が増えているようにも感じます。

次期学習指導要領実施に向けて、教育現場は大きく変化することが予想されます。本課においても、その変化に対応するため、本市の子どもたちの実態に応じて「生き抜く力の育成」を掲げ、具体的な方策に取り組んでいきます。幼保小接続、小学校教科担任制はもとより、中学校部活動改革や探究学習をさらに一歩深めます。

子どもたちは、主体的に学習に取り組む探究学習において、教員が設定したゴールよりさらに高い成果を見せることが多々あります。昨年、小学校6年生の総合的な学習で平和学習に取り組んだ一例を紹介します。自ら疑問を持った課題にグループで取り組み、図書や新聞、インターネット等で情報を収集し、タブレット端末でまとめ、プレゼンテーションの形式で学習成果を発表しました。中には、核兵器について話し合う当時の各国首脳会談の動画を提示したり、調べたことを地図やグラフでまとめたりしながら、発表していました。そして、いくつかのグループが学区の平和のつどいで発表し、地域の皆さんに聞いていただきました。調べた内容を自分の生活につなげ、今の自分にできることを考え述べていることに私も大変感銘を受けました。自分なりに考え、聞いている人にわかりやすく伝えるよう構成を工夫し、自分事として訴える児童たちに、地域の皆さんから称賛の声が上がりました。

子どもたちがこれからの時代を生き抜く力を育むため、与えられた課題に取り組むだけでなく、自ら疑問や課題に気づき、それらの解決のために方法を考え選択し、仲間と協働しながら課題解決に取り組むことが必要です。そういった力を育むための遊び・学びをそれぞれの校園所で、子どもたちの実態に応じて進めていきます。そして、何より大切にしたいのは、子どもたちが安心して過ごし、力を発揮し、さらに力を伸ばしていける環境をつくることであると考えます。今年度も、子どもたちの逞しく健やかな成長を各方面から支えていただきますようよろしくお願いいたします。

令和8年度 教育研究所

事業のご案内

近江八幡市教育研究所のキャラクター
“つなっきー”です。みなさんご存知でしょうか？
つなっきーを見れば教育研究所と思ってもらえれ
ば嬉しいです。よろしくお願ひします。



1. 指定研修

※各種研修の内容は変更になることがあります。

研修・講座名	期 日	内容等
初任者研修	① 6月 4日 (木)	AM 「教育長講話」「マナー講座」「学校給食について」 PM 「普通救命講習」
	② 6月30日 (火)	AM 「学校事務と給与制度等」 PM 「沖島の歴史と文化について」
	③ 7月21・22日 (いずれかに参加)	PM 教職2年次とのクロス研修 「テーマに沿ったグループ対話」
	④ 11月 5日 (木)	AM 「研究授業・授業研究会」 PM 「八幡掘周辺フィールドワーク」
	⑤ 2月 4日 (木)	AM 「読書指導」 PM 「市内の施設見学」「1年間の総括」
本市勤務 2年次研修	11月 中旬	本市の人権教育重点取組研修会 (オンデマンド)
中堅教諭等 資質向上研修	① 8月 4日 (火)	PM 「データから見る本市の不登校の現状と対策」
	② 11月20日 (金)	AM or PM 「研究授業・授業研究会」

2. 夏季研修・講座

夏季研修におきましては詳細が決まり次第、お知らせします。皆さんの日々の業務に少しでも役に立つもの、授業実践力の向上につながるものを検討し、準備を進めて参ります。夏休みの貴重なお時間ですが、興味のあるものにできる限りご参加いただきたいです。よろしくお願ひいたします。

3. 教育研究奨励事業

本市の教育実践活動の充実等を図るため、研究活動を奨励します。今年度は第3期教育大綱に基づき、「探究的な学び」の充実を図る研究、「環境による教育」や「遊びを通じた総合的な学び」など「生き抜く力」の育成に関わる研究を対象とします。積極的にご応募ください。

4. 近江八幡市教育研究発表大会

令和9年(2027年)1月20日(水) PM 近江八幡市文化会館大ホール

教育研究奨励事業の紹介、今日的な教育的課題に関する研修や本研究所の研究報告を行います。目の前の子どもたちの成長につながる学びの時間としてぜひ積極的にご参加ください。

5. 研究資料の収集・整備・提供・調査研究

市内外の教育研究資料の収集と情報の提供、教育研究所だより『輝動』を発行します。

6. 教育関係担当者会

不登校等支援ネットワーク会議(全体会・代表者会・校区会)

「つなげる」を合言葉に、教師が子どもの変調を見取る力を高めるための研修や具体的な支援策を生み出すケース会議、小中・外部機関との連携を行います。

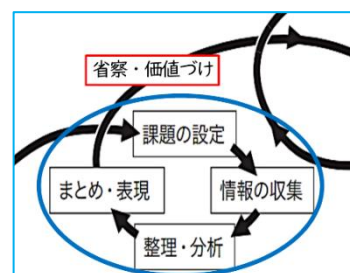
☆生きる力から生き抜く力の育成プロジェクト調査研究(2年次)☆

今年度も教育研究所では、生き抜く力の育成に向けた調査研究に取り組みます。

昨年1年間だけを振り返っても、世界はより混沌の度合いを深め、予測困難な出来事が次々と起きています。特に米国とイランの直接衝突、ホルムズ海峡をめぐる通航規制とそれに伴う石油供給への懸念は、日本国内のエネルギーコスト急騰や経済の混乱へと直結し、私たちの日常生活をも一瞬で脅かす事態となっています。これに加え自律的に動き始めた『生成AI』がもたらす急激な技術革新とそれに伴う人間の思考停止への懸念、さらには国内外で常態化する気候変動や災害など、まさに『昨日までの正解が、明日には通用しない』事象が連続して発生しています。

このような激動の2026年度を迎えるにあたり、未来を生きる子どもたちに、その未来を生き抜く力を育成することは、学校教育に課せられた使命だとあらためて実感しています。「あらかじめ用意された問いを早く正確に解く」だけの教育では、子どもたちはこの荒波を生き抜くことはできません。自らの感性で問いを見出す「課題発見能力」、失敗を恐れず動く「行動力」、そして不測の事態にも新たな活路を拓く「創造性」。本研究で実践する「探究的な学び」を通じてこれらの生き抜く力を育成することは、一刻の猶予もない急務となっていると考えています。

そこで今年度も、生活科・総合的な学習の時間での探究学習「ナイストライ」と探究的な学びの視点を取り入れた各教科の学習「学びに夢中」の実践を研究校並びに研究協力教員の皆さんとともに研究を進めていきます。



令和8年度(2026年度) 教育相談関係一覧表

事業名	教育相談室1	教育相談室2	教育支援ルーム「にこまるルーム」
場所	マナビイ2階	マナビイ2階	マナビイ2階
連絡先	37-8877	37-1205	37-1205
開室	月～木曜日 9:00～16:30 金曜日 10:00～17:30	月曜日 9:00～16:30 金曜日 9:00～12:00	月～金曜日 9:00～15:30
対象者	市内在住の幼児・小学生・中学生およびその保護者	市内在住の幼児・小学生・中学生およびその保護者、教職員	市内に在住する不登校の小学生や中学生
内容	不登校や問題行動などで悩んでいる市内在住の幼児・小・中学生およびその保護者を対象とした電話相談・面接相談	不登校やいじめ、集団不適応等の問題行動に対するカウンセリングやプレイセラピー等の心理療法や心理検査	不登校児童・生徒の教育相談および社会復帰するためのきっかけづくりや社会的自立を目指した支援

事業名	訪問教育相談
場所	市立の小・中学校
連絡先	在籍の小・中学校
対象	各校在籍の児童・生徒およびその保護者
内容	各学校にて、不登校およびその傾向にある児童・生徒・保護者への教育相談

事業名	訪問型教育支援「にこまる訪問」
場所	児童生徒の自宅や公共施設
連絡先	37-1205
対象	市内に在住する不登校の小学生・中学生
内容	家庭や公共施設などで、一人一人に応じた学習・生活・人間関係改善等、社会的自立を目指した支援

医師・保健師と連携をしています。

